

No.	大学名	プロジェクト名
	佛教大学	チーム『ぶつ☆ラジ』

参加学生 (登壇者★)	上田祥平 (社会学部) 3回生 ★大井緋奈乃 (社会学部) 4回生 ★小山亘 (社会学部) 3回生 谷さくら (社会学部) 3回生 ★中西健太 (社会学部) 3回生 ★原口依子 (教育学部) 3回生 吉武諒哉 (社会学部) 3回生	連携先からの ミッション	「若者にもっとラジオ番組を聴いて もらえるようにする」
活動期間	2020.4. ~ 2021.2.	受け入れ先 団体・企業名	NPO法人コミュニティラジオ京都 様 (RADIO MIX KYOTO 様)

### ミッションへ取り組み概要 (自由記述, 図表・画像挿入可)

- ◆京都市北区のコミュニティFM放送局であるRADIO MIX KYOTO (NPO法人コミュニティラジオ京都) と連携し、ラジオ番組の制作・放送を行ってきました。佛教大学では2016年度から主に2回生が取り組むプロジェクト科目の一環として、地域と大学が連携しながら「ぶつ☆ラジ!」という番組を制作してきました。2020年度からは、これを新たにグローバル人材PBLの演習科目として再定位して、より高いレベルの番組放送をめざすクラス科目としてリニューアルさせました。
- ◆わたしたちのプロジェクトの主旨は、受け入れ団体のRADIO MIX KYOTO様からいただいた2020年度ミッション「若者にもっと番組を聴いてもらえるようにする」に応えるために、それを実現する方策を具体的に構想し、この構想に沿った番組の制作や情報発信に取り組むというものでした。
- ◆当初は放送開始6月頃で30分番組を月2回放送することを見込んでいましたが、それはコロナで不可能となり、実際に放送できるのは9月からということになりました。
- ◆しかし「災い転じて福となす」です。4月から9月の放送開始までは、いただいた年度ミッションを実現するためには具体的にどうすればよいのかを徹底的に構想することに費やそうということになりました。番組のコンテンツとなるトークの内容構成はもちろん、広報戦略などもどのような工夫をすればよいのかなどについて、毎週金曜夕方にオンラインで集まってさまざまな企画案を全員で構想することに集中しました。
- ◆構想した企画案は、これもオンラインでRADIO MIX KYOTO様の放送局長の方にプレゼンテーションしてアドバイスをいただき、さらにブラッシュアップするというサイクルを8月のお盆までに繰り返して(発表動画内で「2回のプレゼンテーション」と言っているものです)ながら、番組内容・広報方法を研ぎ澄ませていきました。それを経てかたまった番組内容・広告方策の実現に向けて、8月下旬から実働を開始させ、2020年9月25日(金)の第1回放送に備えていきました。
- ◆第1回放送(9月25日)以降は、月2回、実際にラジオ局から放送を行ってきました。そのために、取材・台本作成、BGMの選定、番組進行表の作成、放送前週の読み合わせ(リハーサル)、放送機材担当メンバーの機材操作練習、タイムキーパーの技術習得などを遂行してきました。その都度、ラジオ局の方のアドバイスやご指導をいただきつつ、よりよい番組作りに取り組んできました。

### ミッションに取り組む中で社会的課題として見えてきたこと (ミッションと深く関わる社会的な課題)

- ◆コミュニティラジオということで、地域(京都市のとくに北区を中心とした地域)とのかかわりで、しかも「若者にもっと聴いてもらう」というミッションと結びつけた番組内容を構想することにはさらに知恵を絞る必要があると思いました。わたしたちは、北区に所在する佛教大学の学生自身が若者ですので、わたしたちの関心事項を深めれば自ずと「もっと若者に聴いてもらえる」と考えて、コンテンツを企画し放送を展開してきました。ただ、ひとことに「若者」といっても捉え方は幅広いはずで、実際には、幼児から壮年期手前の世代までありえます。その幅広い若者のどこをターゲットにすべきか、それとコミュニティをいかに結びつけるかが課題です。
- ◆さらに広報の範囲として、今年度は佛教大学内での案内に比重を置きすぎていた感があり、SNSをさらに効果的に駆使しつつ、放送そのものを通じた地元への貢献だけでなく、コミュニティに絡んだ広報で地元とのタイアップを高めることが、課題と考えます。